

# 八幡平市教育委員会会議録

平成30年6月26日（火）

八幡平市教育委員会

平成30年八幡平市教育委員会6月定例会会議録

1. 開催日時

平成30年6月26日（火）午後2時45分から午後3時25分

2. 場所

八幡平市役所 大会議室

3. 出席者

教 育 長	星	俊 也
委 員	伊 藤	政 行
委 員	羽 沢	憲 英
委 員	宮 野	朋 士
委 員	高 橋	優 子

4. 欠席者

なし

5. 説明等のため出席した職員

教育総務課長兼給食センター所長兼図書館長	工 藤 久 志
教育指導課長兼教育研究所長	川 村 憲 弘
教育総務課長補佐兼総務係長兼文化財係長兼給食センター副所長兼博物館副館長	小山田 美恵子（事務局）

6. 傍聴者

なし

7. 教育長あいさつ要旨

5月の定例会以降の主な行事等のうち、以下の事項について報告

- 1) 岩手地区中総体で、西根中学校男子サッカー、女子ソフトテニス団体が地区優勝、安代中学校男子ソフトテニス団体が準優勝、西根第一中学校女子バスケットボールが第3位になり、県大会に出場する。
- 2) いじめ問題専門委員会が開催され、いじめ問題の方策として、PTA代表の方から、SNSのトラブルが増える中で、家庭でのスマホゲームについて、ルール作りを勧める必要があるとの意見をいただいた。
- 3) 八幡平市就学支援委員会で、平成30年度の就学支援計画で、就学支援ファイルの活用について話題となり、指導を継続していくためのツールとして役立てていくことを確認した。
- 4) 文化財保護審議会で、安比塗関連遺産の漆塗室の移設について今後も検討していくということで課題となっている。

- 5) 校長会議で、教師の言葉による冷たい対応、行き過ぎた言動などが、騒がれていたもので、子どもを認める、励ますことを中心に指導してほしいと話した。
- 6) 平館小学校に訪問した時、詩人江間章子さんの詩を全校児童で暗唱に取り組んでいたという素晴らしい取り組みの紹介。
- 7) 定例会以降の主な予定
  - ・盛岡広域振興局との訪問意見交換会
  - ・タマサート大学教養学部長歓迎レセプション
  - ・第4回校長会議
  - ・東北六州市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会
  - ・第2回管内教育長会議
  - ・教育委員会7月定例会

## 8. 報告事項の要旨

(教育総務課)

- ・八幡平市議会第2回定例会一般質問で、教育委員会関係の2件の内容について、概略を説明
  - ①地域特性を活かした学校づくり（関治人議員）
    - イ 学校及び交流活動の現状
    - ロ 昨年スキー授業した小中学校の実態とスキー授業を行ううえでの問題及び今後の方針
    - ハ 小学校の外国語活動の現状と今後の取り組み
  - ②子育て支援策の拡充（米田定男議員）
    - イ 学校給食費無料化に関する具体的検討についての見解
- ・大阪府北部地震で児童がブロック塀の下敷きになった痛ましい事故を受けて、市内小中学校ブロック塀の緊急調査の結果報告

(教育指導課)

- ・小学校4校と中学校1校の「学校訪問」を終え、訪問した際の学校と子供たちの様子について説明
- ・「キャリア教育推進協議会」に6部門の代表者が集まり、地域に根差したキャリア教育の推進について確認。

## 9. 議事

報告第1号 専決処分について承認を求めることについて

報告第2号 議会の議決を経るべき議案について（第2号補正予算）

## 10. 議事の概要

○星教育長

付議する事件 報告第1号「専決処分について承認を求めることについて」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○工藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○星教育長

報告第1号について説明がありました。ただいまの報告に関しまして、質問等ございましたら、ご発言ください。

(委員から「なし」の声)

それでは、質疑を終結いたします。お諮りいたします。

報告第1号「専決処分について承認を求めることについて」を原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認め、報告第1号は原案のとおり承認されました。

○星教育長

続きまして、報告第2号「議会の議決を経るべき議案について」を議題といたします。事務局から提案内容の説明をお願いします。

○川村教育指導課長

(資料に基づき説明)

○星教育長

報告第2号について説明がありました。ただいまの説明に関しまして、質問等ございましたら、ご発言ください。

○伊藤委員

学校安全総合支援事業は、当市では初めての事業なのか。

○工藤課長

以前は、西根一中が単年度事業で行ったことがあります。

○星教育長

他地域にはない八幡平市の特色として、岩手山が近いということで、噴火を想定した防災教育が必要となります。平館小には、火山噴火を意識して取り組んでもらいたいと思っています。また、平笠小学校には、火山噴火を想定した防災計画がないということだったのでお願いをしました。ここ1～2年ですべての小中学校で整備を進めていければと考えています。

○川村教育指導課長

昨年取り組んだ西根一中は、今年度学校公開を予定していますので、その中で、取り組みの成果等を、本市を中心としたさまざまな学校に情報提供をし、平館小学校の取り組みも、平館小学校のみならず、市内全体に広めて防災意識等を高めていきたいと考えています。

○星教育長

あと、質問等ございましたら、ご発言ください。

(委員から「なし」の声)

それでは、質疑を終結いたします。お諮りいたします。

報告第2号「議会の議決を経るべき議案について」を原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認め、報告第2号は原案のとおり承認されました。

○星教育長

協議事項その他 事務局から何かありますか。

○工藤教育総務課長

特にありません。

○星教育長

教育委員の皆さん、何かございませんか。

○高橋委員

中学生のカバンがすごく重いということがあり成長期なのにいいのかなと思うときがあります。

ちょっと重いと思うときで10キロくらい、そのほかに部活の運動着やズックなどとなると結構な重さになる。毎日10何キロも背負って歩かなければならないものなのですか。

○川村教育指導課長

教科書、ノートとかいわゆる毎日持っていかなければならない物が多いということですか。

○高橋委員

一教科でも、教科書、ノートのほかに副教材が2～3冊あり、とにかく重い。ちょっと重すぎるかなと。小さい子供だと更に大変かなと思っている。

○星教育長

一中学校だけでなく、他からも聞こえてきているのですか。

○高橋委員

どこも同じくらいの教材を使っているので、普段あまり使わないものは置いてきてもいいのではと思います。

○伊藤委員

以前にテレビの放映で、子どもたちのカバンの荷物が重いというがあった。内容は、教室に整理する棚を設けて入れておき、各自必要なものだけを持ち帰り、宿題に関係なく勉強するというやり方を紹介していたのを観た。

成長期に常に重いものを背負わせていいのかというような問いかけの内容だったと記憶している。

○星教育長

各学校において、それぞれの考え方があると思いますので、一概にこうなさいという指示まではいきませんが、近々開催予定の校長会の話題として検討していただくことにします。

○川村教育指導課長

学校の実態を聞いて、1年生と3年生では体力・体格も違うので、学校の考え方を聞きながら、確認していきたいと思います。

○星教育長

その他皆さんからありませんか。

(委員から「なし」の声)

特にないようですので、本日の八幡平市教育委員会定例会を終了します。  
ありがとうございました。お疲れ様でした。